
1

上
十七日
機に投宿

六

也云ふ
甚だ温し
頓挫を來
害なりと
の低落に

るも余り

るも余り
信は頼母し
保々なるも
者少なし
檢束度
切の評平

可憐なり

的態度なり
關係あるが
に餘念なし
日く政權に
つた連中也

するにあり

赴任早々自
に怖はや
日人を輕
火に薪也

手心を要す

手心を要す

[illegible]